



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月2日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二之夕 裕美

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 籠橋 榮治

TEL 0587-95-5211

四半期報告書提出予定日 2023年2月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	408,581	14.1	7,340	34.7	12,820	8.4	6,399	23.0
2022年3月期第3四半期	358,030	14.5	11,248	111.2	13,989	77.8	8,312	42.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 7,774百万円 (48.5%) 2022年3月期第3四半期 15,096百万円 (25.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	70.08	
2022年3月期第3四半期	91.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	437,175	287,753	61.7
2022年3月期	447,834	285,538	60.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 269,811百万円 2022年3月期 268,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		30.00		30.00	60.00
2023年3月期		30.00			
2023年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	8.8	10,000	8.6	15,000	3.6	6,000	68.1	65.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	94,234,171 株	2022年3月期	94,234,171 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,911,355 株	2022年3月期	2,937,578 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	91,314,959 株	2022年3月期3Q	91,289,836 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は408,581百万円と、前年同四半期に比べ50,551百万円(14.1%)の増収となりました。利益につきましては、連結営業利益は7,340百万円と、前年同四半期に比べ3,908百万円(△34.7%)の減益となりました。連結経常利益は12,820百万円と、前年同四半期に比べ1,169百万円(△8.4%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は6,399百万円と、前年同四半期に比べ1,913百万円(△23.0%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（日本）

半導体不足等の影響で客先生産台数が減少し、売上高は199,833百万円と、前年同四半期に比べ1,788百万円(△0.9%)の減収となりました。営業損失は合理化努力があったものの、原材料の値上がりなどにより△6,261百万円（前年同四半期比△6,089百万円）となりました。

（北米）

円安による為替換算上の影響などにより、売上高は95,473百万円と、前年同四半期に比べ22,616百万円(31.0%)の増収となりました。営業損失は△2,078百万円（前年同四半期比767百万円）となりました。

（アジア）

客先生産台数の増加に加え、円安による為替換算上の影響などにより、売上高は146,316百万円と、前年同四半期に比べ27,847百万円(23.5%)の増収となりました。営業利益は15,394百万円と、前年同四半期に比べ1,412百万円(10.1%)の増益となりました。

（その他）

売上高は30,275百万円と、前年同四半期に比べ7,234百万円(31.4%)の増収となりました。営業利益は1,524百万円と、前年同四半期に比べ259百万円(20.4%)の増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の減少などにより437,175百万円と、前連結会計年度末に比べ、10,659百万円減少いたしました。負債は、支払手形及び買掛金、未払費用の減少などにより149,421百万円と、前連結会計年度末に比べ、12,875百万円減少いたしました。純資産は、為替換算調整勘定の増加などにより287,753百万円と、前連結会計年度末に比べ、2,215百万円増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年10月27日決算発表時の公表値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,977	55,157
受取手形及び売掛金	81,137	77,793
電子記録債権	11,451	14,864
有価証券	4,801	999
商品及び製品	25,898	26,539
仕掛品	36,493	35,966
原材料及び貯蔵品	8,449	8,858
その他	11,580	13,163
貸倒引当金	△55	△46
流動資産合計	237,732	233,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,164	33,879
機械装置及び運搬具（純額）	32,429	30,913
その他（純額）	30,762	35,538
有形固定資産合計	97,357	100,331
無形固定資産		
その他	2,509	2,720
無形固定資産合計	2,509	2,720
投資その他の資産		
投資有価証券	63,084	53,208
その他	47,256	47,724
貸倒引当金	△105	△105
投資その他の資産合計	110,235	100,826
固定資産合計	210,102	203,878
資産合計	447,834	437,175

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,651	46,649
電子記録債務	10,631	12,026
短期借入金	—	1,990
未払法人税等	2,871	1,609
賞与引当金	9,021	5,888
製品保証引当金	1,060	1,290
その他の引当金	192	130
その他	44,082	38,366
流動負債合計	119,513	107,951
固定負債		
社債	10,000	10,000
役員退職慰労引当金	296	283
退職給付に係る負債	23,793	23,455
資産除去債務	72	72
その他	8,621	7,659
固定負債合計	42,783	41,469
負債合計	162,296	149,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,872	25,613
利益剰余金	196,514	197,435
自己株式	△5,285	△5,238
株主資本合計	239,957	240,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,389	5,980
為替換算調整勘定	8,173	11,505
退職給付に係る調整累計額	12,191	11,659
その他の包括利益累計額合計	28,755	29,144
非支配株主持分	16,825	17,942
純資産合計	285,538	287,753
負債純資産合計	447,834	437,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	358,030	408,581
売上原価	315,600	365,598
売上総利益	42,429	42,982
販売費及び一般管理費	31,180	35,641
営業利益	11,248	7,340
営業外収益		
受取利息	188	373
受取配当金	479	521
持分法による投資利益	342	352
為替差益	1,238	3,142
その他	644	1,167
営業外収益合計	2,893	5,557
営業外費用		
支払利息	52	46
その他	99	31
営業外費用合計	152	77
経常利益	13,989	12,820
特別損失		
固定資産除売却損	—	25
特別損失合計	—	25
税金等調整前四半期純利益	13,989	12,794
法人税等	4,555	5,277
四半期純利益	9,433	7,517
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,121	1,117
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,312	6,399

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	9,433	7,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,440	△2,455
為替換算調整勘定	2,583	3,278
退職給付に係る調整額	△389	△533
持分法適用会社に対する持分相当額	27	△32
その他の包括利益合計	5,662	256
四半期包括利益	15,096	7,774
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,744	6,789
非支配株主に係る四半期包括利益	1,351	984

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、株式会社東海理化トウホクを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2016-02号「リース」（2016年2月25日。以下「ASU第2016-02号」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

ASU第2016-02号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

（セグメント情報）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	163,130	72,459	99,628	335,218	22,811	358,030	—	358,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38,491	398	18,841	57,730	230	57,961	△57,961	—
計	201,621	72,857	118,469	392,949	23,041	415,991	△57,961	358,030
セグメント利益又は 損失（△）	△172	△2,845	13,982	10,964	1,265	12,229	△980	11,248

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額△980百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	158,543	95,071	124,951	378,567	30,013	408,581	—	408,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,289	402	21,365	63,056	262	63,319	△63,319	—
計	199,833	95,473	146,316	441,624	30,275	471,900	△63,319	408,581
セグメント利益又は 損失（△）	△6,261	△2,078	15,394	7,054	1,524	8,578	△1,237	7,340

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,237百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。